

平成29年度 議会報告会で寄せられた意見と質問を集約しました。

お寄せいただいた御質問にお答えいたします。

■文教経済委員会の報告に対する参加者からの質問(18件)

件数	寄せられた御質問・御意見	八王子市議会の考え
1	・いじめとして取り上げた事例の原因は子ども、教師、親のいずれであって、どの様に解決したのか、教えてほしい。	今回は新しい条例としての報告を行いました。この条例に基づいた解決策を今後確認していきます。
2	・様々取り組んでいる様子がわかり勉強になりましたし、難しい課題の打開に取り組んでいってもらえると期待します。	ご意見ありがとうございます。
3	・「いじめの認知件数－解決件数」に関して 小学校 656－640＝16 中学校 164－141＝23 となっていたが、16件、23件は未解決の件数か？未解決だった事案はその後どうなったか？次年度に継続したのではないか？追跡調査はしたのか？（解決したのか）	ご指摘の、小学校16件と中学校23件については、いじめの現象は収まっているが継続して見守っていると聞いております。
4	・利敵攻激（利敵行為？）を子どもにすり込まないでほしい。成長において良くない（社会へ）	ご意見ありがとうございます。
5	・MICEについて、各施設のことを載せるのは良いが、パンフレットにもモデルコースなどを作り、宣伝するべきではないだろうか（JRの小さな旅モデルコースのように）。	アフターコンベンションなどのコースについては、観光コンベンション協会が検討しております。

6	<ul style="list-style-type: none"> ・条例を市民、子どもたちに具体的にどう知らせていくのか。とりわけ子どもに学校でどういった形で知らせるのか。 	<p>市のホームページやリーフレットでお知らせしており、子どもたちには、「一人で悩まず相談しよう」「いじめは許されない行為だ」ということを学校を通じて伝えていくと聞いております。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・質問者に対して、各委員から回答があったが、市が具体的にどう回答したのか、知らせてほしかった。 	<p>議会報告会という性質上、委員が回答する形となっております。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加によるMICE運営をお願いしたい。 	<p>市民参加は必要と考えます。今後は、ボランティアを含めての参加を検討していると聞いております。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さないまち八王子条例が可決するまでの議会内の議論の内容を教えてください。 	<p>学校だけでなく、地域の大人たちも協力して取り組んだいじめ防止策や、相談体制・救済制度などを議論してまいりました。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・青地に赤、緑地に白抜きは見づらいです（弱視のような方への配慮も必要です）。 	<p>見やすい表示を心がけてまいります。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・MICEの読み方がわかりにくいです。MICEを「ミセ」と読んでいました。店？見せる？パンフレットに読み方をお願いします。 	<p>読み方の表示に気をつけてまいります。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・MICEについて、観光コンベンション協会の果たす役割について、訳されたし。 	<p>観光コンベンション協会の役割は、主にMICEの誘致や運営支援を行っていると考えております。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめについて、対象を子どもに限定せずに大人のいじめについても語ってほしい。 	<p>この条例は子どもの人権を守るため、策定されています。なお条例の中には、大人の姿が子どもたちに影響を与えることを記載して、大人の行為についても考えを述べております。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめられた方や、その親御さん等のメンタルを含むケアについて、スクールカウンセラー以外で、委員会ではどのようにお考えなのかお聞かせください。 	<p>スクールカウンセラー以外では、市・教育委員会それぞれに相談窓口を設けて、メンタルケアにも対応しています。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・映画の活用の方針は？映画「青い鳥」は大変貴重な提起をしていると、生徒の胸に響くと思います。形式的指導への戒めになると思います。 	<p>市民の皆様には条例の考えをお伝えすることをねらいとし、当事者意識をもって「見て・感じて・考えて」いただきたいという思いから映画を活用したと聞いております。</p>

16	<p>・自己肯定感、有用感を損なっている。大人の責任を調査する意欲はありますか。（例）全国学力テスト</p>	<p>大人に対する調査については、今後、教育に関わる市民対象の意識調査などにおいて検討していると聞いております。</p>
17	<p>・条例を活かすために現場教員、母親の意見をよく聞きながら進めていかれるのでしょうか。（例）学校・家庭のルールづくり ― 押しつけにならないでしょうか。</p>	<p>学校やPTA・関係機関と協議し、子どものSOSへの気づき方や相談体制・救済体制が整っていると聞いております。</p>
18	<p>・いじめの実態については、潜在的なモノを含め、その根が非常に深く対応も様々と思われます。私自身もいじめられた経験から、いじめられている子をどのような体制（心理的ケアを含めて）で救出していくのか？いじめを考える機会をもっと身近に感じられる場を積極的に増やしてほしい。ちなみに、いじめによる自殺は平成23年度以前からありました。条例を施行してからが本当の具体的対策が求められているのでは。</p>	<p>毎日子どもたちの様子を把握できる学校が、子どもたちの些細なサインを見逃さないように努めるとともに、家庭や地域とさらに協力して見守り、迅速な対応を図ってまいります。条例制定後は、いじめの防止に関する基本的な方針を策定し、その中に具体的な対応を示し、全校で取り組んでいくと聞いております。</p>

■厚生委員会からの報告に対する参加者からの質問(13件)

件数	寄せられた御質問・御意見	八王子市議会の考え
1	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対策の問題は、ますます高齢化に向けて大変な問題だと思います。一生懸命頑張ってくださいという様子が伝わり勉強になりました。 	<p>ご意見いただきありがとうございます。引き続き、皆様の負託に応えるよう、頑張っています。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、ネウボラ共に、各機関が連携し合っているのはわかるが窓口はどこか。また、活動に伴う出費はどこで対応しているのか、明確にしてほしい。 	<p>【認知症についての窓口】 市では、高齢者の総合相談窓口として、市内17ヶ所に高齢者あんしん相談センターを設置し、様々な相談を受けています。また、相談内容に応じ、都設置の認知症疾患医療センターや若年性認知症総合支援センターや、その他庁内関係部署につないでいると聞いております。</p> <p>【ネウボラについての窓口】 市内3ヶ所の保健福祉センター、6ヶ所の子ども家庭支援センターになります。お住まいに近いセンターに相談いただければ、妊娠、出産、子育てに関する相談ができます。また、相談内容に応じて、医療、福祉、子育て支援などの連携先につないでいくとのことでした。</p> <p>【経費について】 なお、活動に伴う経費についてですが、都設置機関は東京都が負担し、高齢者あんしん相談センター、保健福祉センター、子ども家庭支援センターなどは市が負担しているとのことでした。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化（基金でも設けて欲しい） 	<p>ご意見いただきありがとうございます。市民の貴重なご意見として、今後の議論の参考にさせていただきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交流を含め、元気高齢者の生きがいづくり、社会参加の場を増やしてほしい。 	<p>この件に関しては、議会でも様々な場面で議論がされております。市民の貴重なご意見として、今後の議論の参考にさせていただきます。</p>

5	<p>・マイファイルについて、議会内ではどのような議論が展開されたのか教えてください（市民の中ではとらえ方や見解がわかれているので）。</p>	<p>マイ・ファイル事業については、はちおうじっこ切れ目のない支援事業として平成29年度予算から新たに進められてきました。 まず、平成29年度予算審査にあたって、予算代表質疑、予算特別委員会の総括質疑、厚生分科会、文教分科会などで各議員が取り上げ、事業の内容、運用方法、今後の進め方などについて様々な観点から質疑がありました。 その他、平成28年度決算審査特別委員会や一般質問でも各議員が取り上げています。 マイ・ファイル事業の一つである乳幼児手帳の配布については、2017年9月の厚生委員会で所管から報告があり、委員からは手帳の使用について質疑がありました。</p> <p>このように、マイファイルについて様々な場面で議論されておりますが、詳細については、議事録をご覧ください。</p>
6	<p>・少し作りすぎ（入りすぎ？）感はありましたが、聞きやすかったです。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。今後の議会報告会の参考にさせていただきます。</p>
7	<p>・施策自体が行政の縦割りの影響を受けており、市民、国民が求めているのは、「八王子版ゆりかごから墓場まで」の人間の一生をサポートする施策・事業が計られることを期待しているのではないか？</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。市民の貴重なご意見として、今後の議論の参考にさせていただきます。</p>
8	<p>・八王子の認知症率について、若年性認知症率についても統計をとっていらっしゃれば教えてください。</p>	<p>若年性認知症数は、市としては把握していないようです。 平成20年度に厚生労働省より発表された有病率は全国で37,800人と推計されています。それを元に推計した都内患者数は4,000人とされており、これらを人口案分した本市の若年性認知症数は推計で約166人程度となります。</p>

9	<p>・今後の課題として、「発達障害と認知症」等があるかと存じますが、議会としてどのような問題点や課題が挙げられ、どう取り組みをされようとしているのか、お聞かせください。</p>	<p>認知症や発達障害については、議会でも様々な場面で議論されておりますが、詳細については、議事録をご覧ください。こういった現状の改善に向けて、今後も議会で議論してまいります。</p> <p>【認知症について】 認知症高齢者数は、2025(平成37)年には約700万人、65歳以上の高齢者の5人に1人に達すると見込まれています。課題と市の取り組みについては、以下の通りです。 (1) 行方不明者…徘徊探索機器の貸与、見守りシール事業など (2) 虐待…虐待対応、高齢者虐待防止研修など (3) 消費者被害・特殊犯罪被害…情報提供、見守りなど (4) 若年性認知症…連携体制の構築、都の若年性認知症総合支援センターとの連携など (5) 家族介護の負担…認知症家族サロンの運営、グループホームの利用料補助など</p> <p>【発達障害について】 市としても発達障害児と保護者の不安解消のため、療育支援として未就学児・就学児を対象とした島田はちおうじでのグループ指導や相談支援事業のほか、心理相談員などの資格者を各ライフステージに応じた相談窓口へ配置したりと取り組んではいるものの課題も多くあります。 例えば、早期発見、早期療育を必要とする発達障害児(者)については、多くの方が医療機関での初診待機となっている状況もあり、相談や問い合わせが、市の各担当所管に寄せられています。</p>
10	<p>・認知症と介護とは切り離すことのできない問題ですが、委員会では、どのような問題点や課題が取り上げられ、どのような取り組みが必要と考えられているのか、お聞かせください。</p>	<p>認知症と介護には密接な関係があり、これまで議会では、認知症家族サロンや、認知症高齢者グループホームの充実などについて審議が行われてきました。 今後は八王子市第7期介護保険事業計画に基づき、介護・介護予防・医療・住まい・生活支援の5つのサービスを一体的に提供する、八王子版の地域包括ケアシステムを構築する中で、認知症対策の強化を市に求めてまいります。 これまでの審議の詳細については、議事録をご覧ください。</p>
11	<p>・ネウボラの取り組み、前進を祈ります。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。引き続き、皆様の負託に応えるよう、頑張っております。</p>

12	<p>・保健師のみならず、保育士、ヘルパーなど、厚生・福祉に関わる労働への評価が低く、給与も不十分ではないでしょうか。より積極的対応を！</p>	<p>この件に関しては、議会でも様々な場面で議論がされております。市民の貴重なご意見として、今後の議論の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>・私の周りにも多子世帯が多く、中でもシングルマザーが2人以上の子育てと仕事との両立を強いられている状況が少なくありません。勤める会社に子育て支援の理解が乏しいと思います。産前・産後サポートケアについては、その周知度も低く、その社会資源の数も未だ万全とはいえない状況です。今後どのような形で社会資源を増やしていくのか。その具体的な数も含めて目標を掲げて欲しい。</p>	<p>市では、平成27年3月に第3次子ども育成計画「ビジョン すくすくはちおうじ」を策定し、子ども施策を進めています。計画では、妊娠期からの切れ目のない支援を行い、地域全体で子どもと家庭の成長を支えるため、51の施策について「産前・産後サポート事業の実施」「子育て応援企業の登録事業所数の拡充」「子育て応援団Beeネットの登録者数」などを指標として目標値を定め、達成に取り組んでいます。今後もさらなる社会資源の充実を目指し、引き続きさまざまな取組を進めていくとのことです。なお、各目標に対する取組内容や実績については毎年「点検・評価報告書」としてまとめ、公表しています。</p>